

目 次

はしがき

1章 人文科学系国際学の世界へようこそ	1
❖ コラム① 国際政治学の展開と深化	12

I部 言語・文化から国際社会を考える

2章 コミュニケーションとは何か	14
3章 日本語と英語にみられる捉え方の違い	21
❖ コラム② 中国語の学習と文化背景の理解	27
4章 アジアにおける児童英語教育	29
❖ コラム③ 中学校・高校の英語教師になるためには?	36
5章 リンガフランカとしての英語	38
❖ コラム④ ポライトネス(politeness)理論—円滑な人間関係を築くために	46
6章 文化的覇権としての英語	48
❖ コラム⑤ スワヒリ語の生成と展開	53
7章 先住民マオリの言語・文化と教育運動	58
8章 日本語の敬語表現を使いこなす	63
❖ コラム⑥ マニュアル敬語	68
❖ コラム⑦ 世界で一番難しい言語は何語だろうか?	69

Ⅱ部 地域から国際社会を考える

■ アジアから考える

9章 他宗教と共に生きる—インドネシアを中心に……………	76
10章 タイの社会と稲作—地域に根差した生き方と知恵……………	82
11章 東南アジアの生態と社会……………	90
❖ コラム⑧ 京都の西陣織とフィリピンの織物産業	97
12章 「不可触民」の仏教改宗運動……………	99
13章 ガーンディー主義……………	106
14章 南アジアの生態と社会……………	112
15章 古代の日韓交流史……………	119
❖ コラム⑨ 世界遺産と日本	125
16章 旅する日本の画家—海外経験と作風の確立……………	128
❖ コラム⑩ 学芸員という仕事—その人口と役割	133
17章 貨幣が語る中央ユーラシアの歴史—モンゴル帝国の貨幣……………	135

■ イスラーム空間から考える

18章 トルコの「イスラーム」と「呪術」の世界……………	142
19章 イスラーム社会の女性たち—トルコを事例に……………	152
20章 湾岸産油国における安全保障と国際関係……………	158
❖ コラム⑪ 安全保障のジレンマ	166
❖ コラム⑫ オリエンタリズムと中東	167
❖ コラム⑬ アラブの春	168

■ 移動空間から考える

22章 移 民…………… 176

23章 難民と国内避難民…………… 184

❖ コラム⑭ 難民条約と難民議定書 191

24章 インバウンド観光と日本の旅行業…………… 192

❖ コラム⑮ 旅行会社の添乗員になるためには？ 198

❖ コラム⑯ 日本の温泉観光地と地方創生—黒川温泉を事例に 198

25章 サービスとホスピタリティの観光ビジネス—航空輸送事業の事例から… 201

❖ コラム⑰ 航空業界で活躍しよう！ 208

■ アフリカから考える

26章 「宗教の大地」の〈これまで〉と〈いま〉—西アフリカを中心に…… 212

❖ コラム⑱ 怖い「妖術師」の話 220

27章 コーヒーと文化—エチオピアを事例に…………… 222

28章 健康格差とユニバーサル・ヘルスケア—エチオピアを事例に…… 231

❖ コラム⑲ 国際連帯税 236

29章 天然資源の恵みと呪い…………… 237

❖ コラム⑳ 「オランダ病」と北海油田 244

30章 アパルトヘイトの歴史と終焉…………… 245

❖ コラム㉑ アパルトヘイトとネルソン・マンデラの生涯 250

執筆者紹介